

阿南高専における LMS 活用状況と展望

菊池弥生*, 松本高志**, 小松実**, 山田耕太郎**, 川畑成之**, 太田健吾**
阿南工業高等専門学校教育開発推進室*, 阿南工業高等専門学校創造技術工学科**

1. はじめに

阿南工業高等専門学校(以下、本校とする)では、2014年度後期にLMSを全学的に導入してから3年目を迎えており、これまでに事例報告、講習会、教員・学生の利用につながる仕掛け作りを積極的に行ってきた。その結果、初年度から現在に至るまでにLMSの利用は年々増加し、全学的な活用が実現している。本報告では、導入3年目におけるLMSの活用状況を示し、今後の課題について報告する。

2. LMS 導入のよる変化

国立高等専門学校機構では、2010年に「ICT活用教育専門部会」の設置と全国51の高専にICT活用教育推進担当者を設置し、ICT活用教育の促進と各高専の取組状況や課題等の検討を行ってきた⁽¹⁾。このような流れを受けて、本校では2011年にICTを活用した「授業改善システム」を開発しており、シラバスに記載されている授業科目について学生の理解度や修得状況に関するアンケートを実施してきた⁽²⁾。そして、「平成26年度文部科学省大学教育再生加速プログラム(AP)」に採択されたことから、学修成果の可視化と学生の学びの質保証を目指し、全学的なクラウドシステムの導入を推進してきた。LMSは、学習管理システム(manaba)を導入し、上述した各種アンケートや正課科目のコース、さらにはキャリア教育関係のコースとしても利用されており、いつでもどこでもアクセスできる環境から非常に利便性の高いツールとして利用されていることが分かった⁽³⁾。第3章以降では、3年間のLMSの利用状況や各年度に開講された科目におけるLMSの利用率、それ以外のコースの利用状況について示す。

3. LMS の利用状況

(1) 教員と学生のログイン状況

2015年11月から2017年6月までの期間において、学生と教員がmanabaにログインした割合(1か月のうち在籍者、または専任教員がログインした割合)を示したものが図1である。導入以降、manabaへログインした者の割合は年々増加傾向にある。学生の利用については、2016年から2017年度において利用者の割合は90%を超えている(長期期間中の3月と9月は除く)。年度別の利用者平均割合は表1の通りで、年々、学生・教員ともにログイン者の平均割合も増えており、全学的なLMSの導入は順調に進んでいると評価できる。

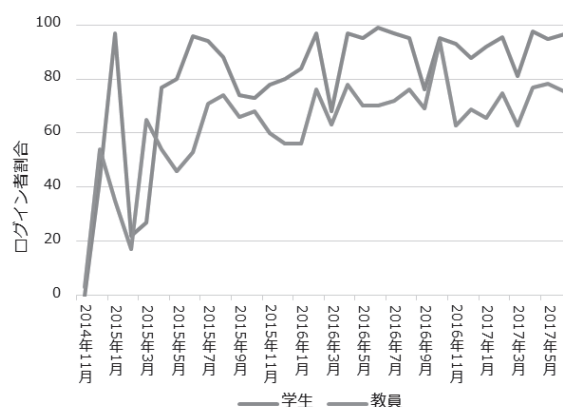


図1 教員・学生ログイン者数(manaba)

表1 教員・学生の利用状況(年度別平均)

	学生[%]	教員[%]
2014年度(平均)	38	35
2015年度(平均)	82	62
2016年度(平均)	92	72
2017年度(平均)	96	79

(2) 正課科目における利用状況

正課科目の中で前期開講科目においてLMSを利用した割合を示したものが図2であり、後期開講科目においてLMSを利用した割合を示したものが

図3である。本校では、LMSを利用する教員の科目が前期に多くあるため、前期の科目の方が利用割合は高い傾向にあるが、利用率は全体的に右肩上がりであり、LMSを用いた学修が順調に進んでいると考えられる。

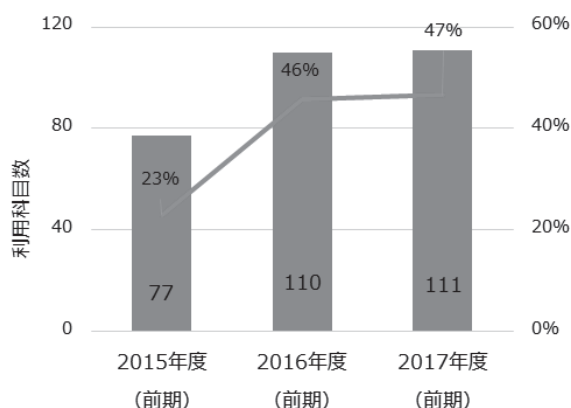


図2 前期利用科目

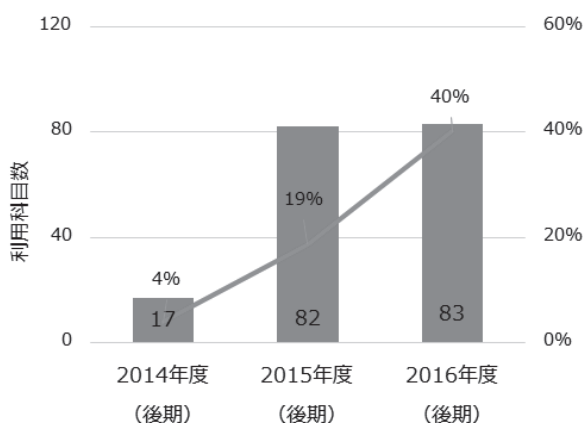


図3 後期利用科目

(3) その他の用途で利用されるコース

シラバスに掲載される科目以外で、依頼(教員・職員・学生から)を受けて作成するコースを示したものが図4である。クラスのコースとは、年度初めに教育開発推進室があらかじめ作成し、担任や副担任のクラス連絡を中心とした利用を目的に作成している。また、教育開発推進室で実施する各種アンケートも実施するため、新年度に予め作成されている。

その他のコースの作成割合としては、クラスのコースが最も多く(32%)、次いでキャリア関係(29%)、事務部お知らせ関係(12%)、クラブ活動

関係(9%)と続く。特に、クラブ活動、研究室、事務部お知らせ関係のコースは、毎年新規のコース作成依頼が増加しており、これまでの利用方法からさらに多様化した利用が行われるようになったといえる。

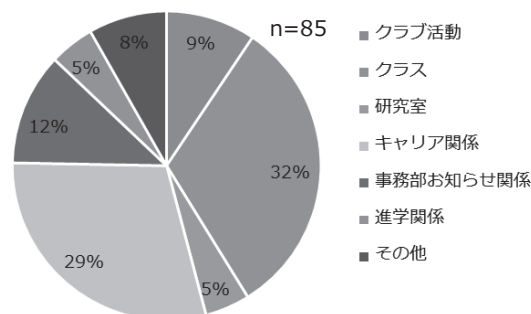


図4 その他のコース (内訳)

4. おわりに

本報告では、LMS導入から3年経過した本校でのLMSの活用状況について示した。教員・学生のmanabaのログイン数や正課科目におけるmanabaの利用割合、それ以外のコースの利用状況から本校では、ICT活用教育が順調に進んでおりこれまでの利用方法からさらに展開した形で運用されていることが分かった。今後は、より様々な機能を利用したICT活用教育が実践できるよう、教員の更なる教育改善と教育方法に関する情報交換等の機会を作り、質の向上を図りたい。

5. 参考文献

- (1) 独立行政法人国立高等専門学校機構『第2期目標期間事業報告書(平成21年度-平成25年度)』2014年6月, p. 29.
- (2) 小林美緒, 松本高志「ICTを活用したFD活動支援ツールの開発」『高専教育』第36号, 2013年3月, pp. 205-210.
- (3) 菊池弥生, 松本高志, 小松実, 山田耕太郎, 川畑成之, 一ノ瀬元喜「ICT活用教育を目指したLMS導入初年次の取組」『平成27年度FD推進プログラム 大学教育カンファレンス in 徳島 発表抄録集』1月, pp. 76-77.